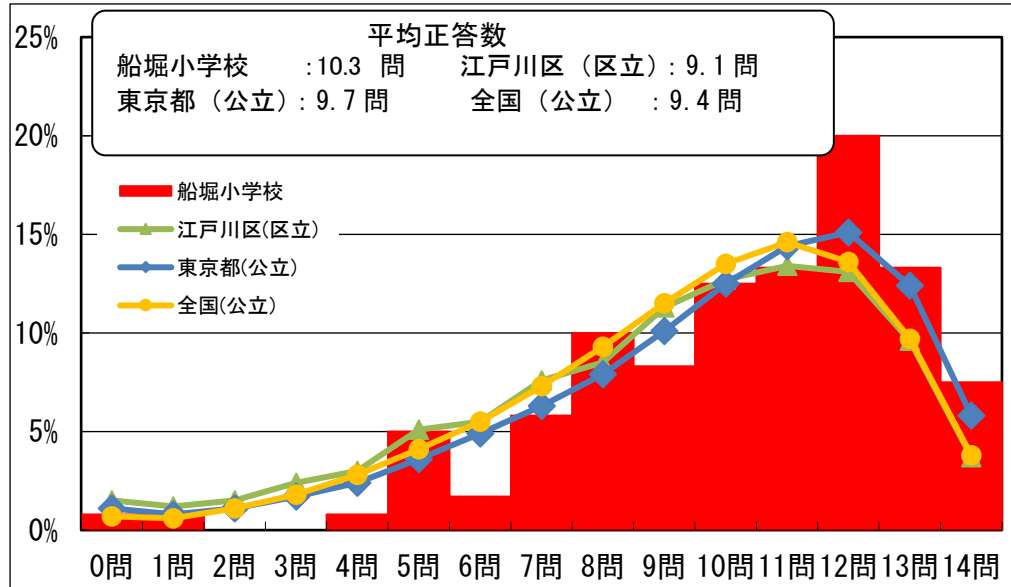


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 船堀小学校

## 正答数分布



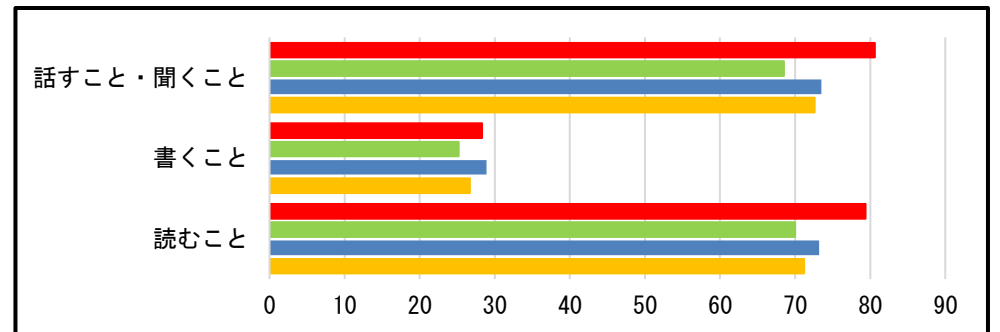
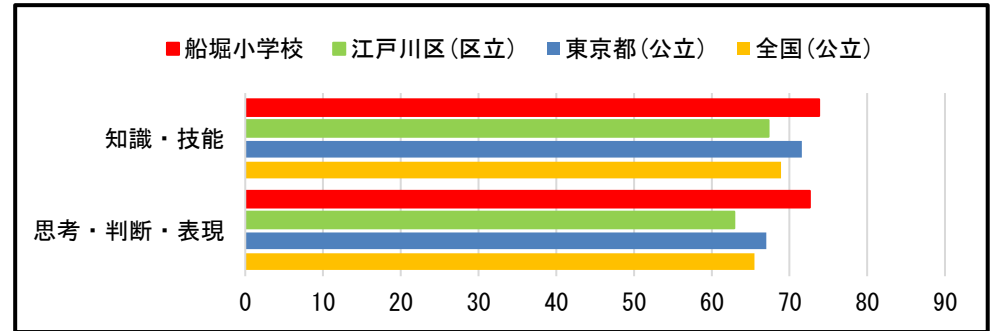
### ＜四分位における割合(都全体の四分位による)＞

上位 ← → 下位

国語	A層 12～14問	B層 10～11問	C層 8～9問	D層 0～7問
船堀小学校	40.8	25.8	18.3	14.9
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

船堀小学校	73%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	+4ポイント

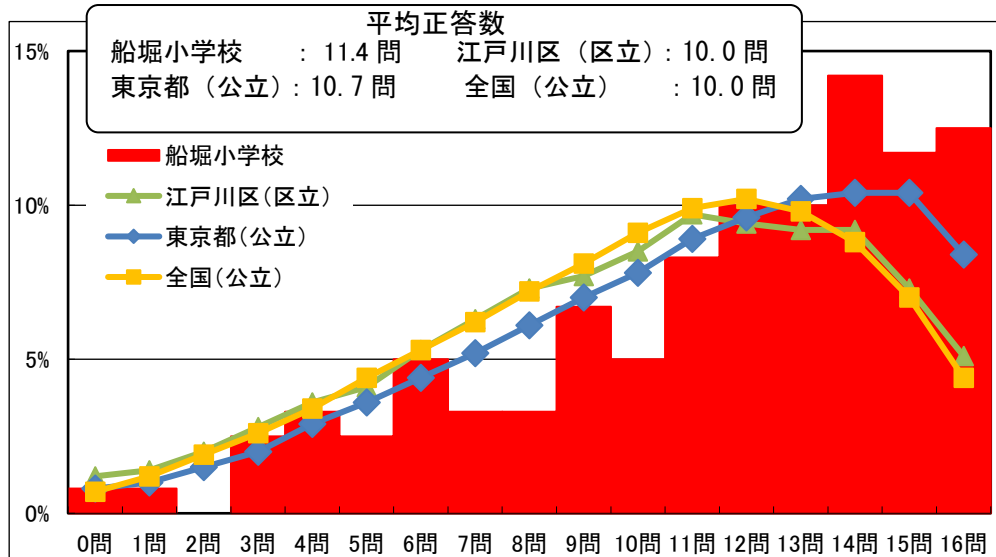
%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率を全国では5.8ポイント、東京都では4ポイント上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域において成果が見られ、全国を約8%上回る結果となった。
- ◆「思考・判断・表現」では、全国平均を上回っているが、「書くこと」の領域については都の平均より下回っている。加えて「記述式」の問題が他の形式より正答率が低い傾向が見られる。日頃から自分の考えや気持ちを文章で表現する機会を増やしていく。そのために書く視点を明確にしたり、書き方のポイントを指導したりしていく。他者との交流を通して学び合って自信に変え、自ら文章で表現する力を養っていく。
- ◎全国平均が上回っていることは、家庭の理解と協力があり、家庭学習が習慣化されていると考える。引き続き協力を求めていく。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 船堀小学校

## 正答数分布

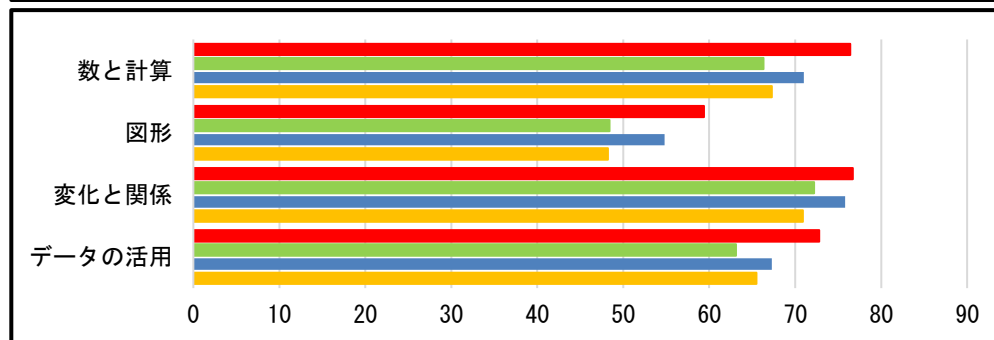
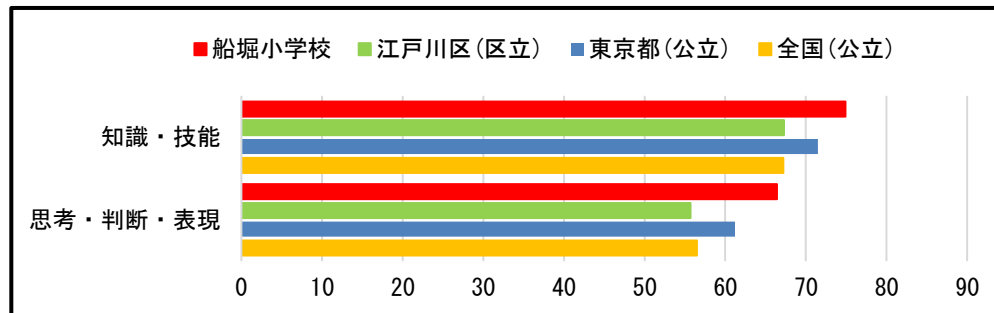


## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
船堀小学校	38.4	28.3	15	18.2
江戸川区 (区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都 (公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国 (公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

%

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

船堀小学校	71%
江戸川区 (区立)	62%
東京都 (公立)	67%
全国 (公立)	62.5%
都との差	+4ポイント

### 【分析結果と授業改善に向けて】

- 平均正答率を全国では8.5ポイント、東京都では4ポイント上回っている。
- 「図形」の領域において成果が見られ、全国を約1.1%上回る結果となった。
- どの領域においても、全国・東京都の平均を上回っている。
- ◆各領域においては、「変化と関係」が低い傾向にある。また問題形式では、「記述式」の問題が他の形式より正答率が低い傾向が見られる。正答のみを目指すのではなく、課題解決のための思考の過程も大切にし、自分の考えを説明できる力をつけたい。そのために図や数直線を活用したり、他者の考えから学んだりすることを通して、思考を広げられるようにする。
- ◎全国平均が上回っていることは、家庭の理解と協力があり、家庭学習が習慣化されていると考える。引き続き協力を求めていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。